

Stage Up

ステージアップ VOL.206 2015年10月1日 (隔月発行)



《かわさきのイベントシリーズ④》
カワサキハロウィン

もくじ

2 まち・ひと・多面体

- ・きれいな街は、人の心もきれいにする
- ・視覚障害者のための朗読CDとテープづくり

3 シニアのパレット

- ・マジックで人と人の心をつなぐ
- ・すべての人が楽しめる「共遊球技」

4 特集

- ・かわさきの農業

6 施設めぐり

7 情報ポケット

誌上ギャラリー

第19回KAWASAKI Halloween (カワサキハロウィン)が、10月17日(土)~31日(土)川崎駅周辺で行われます。10月25日(日)午後、今年初めてパレードコースになる各大通りの片側全車線を規制して「仮装パレード」が行われます。川崎駅前からスタートして、東ロー帯を周回するコースです。ハロウィン・アワード(仮装コンテスト)は、パレード不参加の方もエントリーできる枠を設けることになりました。

カワサキハロウィンでは、近隣商店街や大型商業施設はもちろん、毎年様々な市内企業・団体と連携を取って、イベントを盛り上げています。ハロウィンが日本の行事として定着し、ここ数年、曜日に関係なく、本来のハロウィンの日「10月31日」に仮装を楽しむ人が増えていることから、今年から10月31日までイベントを実施します。昨年度は、国内最大級の約2,500人の参加者が1.5キロの道のりをパレード行進し、沿道に集まった約11万人の観客を楽しませました。



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28-41

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

http://www.kpal.or.jp/ Eメール:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

きれいな街は、人の心もきれいにする ～「グリーンバード川崎駅チーム」の取組～

毎月第2・4土曜日、午前10時から、ゴミ拾いボランティアとして、川崎駅周辺の清掃活動をしているグループがあります。このグループは、「グリーンバード川崎駅チーム」で、リーダーの田村寛之さんの声かけで、昨年(H26年3月)に発足しました。

6月27日(土)、前日からの小雨が朝方も降り続いていました。ゴミ拾いの始まる午前10時には雨はあがりましたが、人は集まるのか、活動はできるのか、と筆者は心配していました。

集合場所の銀柳街と市役所通りの交差点付近に、20名近くの人たちが集まって来ました。

午前10時過ぎ、グリーンバードの副リーダーの皆川さんが、集まってきたメンバーに声をかけて清掃活動の始まりです。

「今日、初めて参加された方はいますか?」に対して、5名ほどが手を挙げていました。中には何回も参加している三浦副市長さんの姿もありました。

グリーンバードの名前の入ったビブス・軍手・トンガ・ゴミ袋

を配付しました。

集合場所を出発した後、銀柳街からラ チッタデッラ・映画館通り・京急本線のガード下・川崎ルフロ・川崎駅東口側を回りました。特に植込みのところには、たくさんのゴミが溜まっていました。



ごみ拾いから、すみやすいまちづくりへ

参加しているみなさんの表情がとても明るくなっているのを感じました。自分たちから進んで善い行いをしているという気持ち、自然と笑顔をつくるのだと思いました。予定より多く集まったゴミを片づけるために、車に乗せなければいけません。拾って終わりではなく後片付けもして終わりになります。

親子連れでゴミ拾いに参加してくれることもあります。それを見た方が、「えらいね!」と言って、お菓子をくれることもあったそうです。また、子どもたちがゴミ拾いに参加しているのを見て、大人が、タバコのポイ捨てを控える様子も見られたそうです。

6月7日(日)は、母なる多摩川を綺麗にしようという市民による川崎市多摩川統一美化活動の日でした。この日は、NPO法人ふれんでい「高齢者支援・生活困窮者支援」の喜働隊のみなさんと一緒に総勢50人が参加したそうです。「ゴミの量は、年々徐々に減っており、市民の意識の中に、年々市民参加の人数も増え美化意識が高まってきているように感じます。」と皆川さんは言います。

使ったところは前よりきれいにするという意識をグリーンバードがつくってくれているのだと、思いました。



■問合せ グリーンバード川崎駅チーム

視覚障害者のための朗読CDとテープづくり ～「ひいらぎ」の取組～

朗読ボランティアグループ「ひいらぎ」のみなさんは、毎週土曜日13時30分～16時、川崎市北部身体障害者福祉会館(北身館)に集まり、視覚障害者のための対面朗読や録音CDとテープ作り等を行っています。

川崎の北部にも視覚障害者の方へのボランティアが必要ということで、平成元年に5～6名からスタートし、当初は朗読の出前を中心にしていました。

平成元年から神谷和子さんが会長を務めて長年「ひいらぎ」を牽引してきました。平成24～25年度は岡本暢子さん、平成26～27年度は夏木昌子さんが代表を務めており、現在、38名の会員が活動しています。

毎月届くのを楽しみに待っています

主な活動として、生活情報の録音CDとテープ「こんにちはひいらぎ」を、年間10回発行しています。6つの情報の柱があり、①タウン情報 ②医療と健康 ③暮らしのコーナー(便利グッズ・生活アイデア・新しいおしゃべり・料理等) ④やさしい政治経済 ⑤話の万華鏡 ⑥遊びの散歩道、それぞれを担当が分担しています。各15分ほど約90分に収めています。

現在100人余りのリスナー(CD70名・カセットテープ30名)が、毎月声が届くのを楽しみに待っています。

他にも、「高津区社会福祉協議会等からの依頼による11

機関誌の録音」「朗読の出前」「個人的なCDとテープの作成」「視障者との交流会」「朗読を楽しむ会の開催」「朗読入門講座への協力」「朗読の勉強会」「対面朗読」「北身館フェスティバルに参加」等、多くの活動をすすめています。日常的な活動では、CD-ROMやテープの作成、発送の他、自宅でも録音を行っているそうです。

年間3回のイベント「新年交流会」「朗読を楽しむ会」「野外交交流会」があります。対面での視覚障害者とのふれあいができるので、自分たちの活動が、視覚障害者のニーズに合っているかを知るよい機会となっています。

ちょうど、取材で伺った8月1日(土)は、第23回「朗読を楽しむ会」が行われていました。22名の会員の方が朗読者となって、18作品の朗読を発表していました。ひいらぎリスナーの方20名の参加もあり、会員のみなさんは、それぞれの作品に想いをこめて心こもった朗読をしていました。朗読に30分以上かかる作品は、複数で分担して朗読していました。

毎年2月に、北身館が主催する「朗読入門講座ボランティア研修」の受講者も新会員として登録してくれています。



■問合せ 夏木昌子 TEL 044-854-3151

マジックで人と人の心をつなぐ ～「オリーブさいわい」の取組～

「オリーブさいわい」は、幸市民館が主催した60歳以上を対象にしたマジック講習会の参加者が中心となり、平成15(2003)年2月に発足しました。

毎月第3木曜日・第4金曜日、10時から幸区の新川崎パークシティF棟の集会室に集まります。訪れた7月16日には、日本奇術連盟の黒瀬光人さんが講師となって、マジックの仕掛けを紹介していました。筆者も一緒に仕掛け作りをしましたが、要領をつかむのはとても難しかったです。

会員のみなさんの話では、「黒瀬先生と一緒にやっている時は、何とか分かるのですが、一人で練習すると、つまずいてしまい前へ進めなくなる」とのことでした。そのため、必至になり話を聞き漏らさないようにしっかりメモを取っていました。この日は、「紐を使うマジック」「紙がお金になるマジック」「トランプのマジック」等を紹介していました。

6月4日(木)には川崎区小田栄にある介護老人保健施設でマジックを披露してきました。



10月10日(土)には、幸区地域教育会議の子ども会議実行委員会に参加予定、11月7日(土)福祉プラザまつりでもマジックを披露する予定になっています。

老人会や幼稚園・保育園、わくわくプラザ等の新年会や誕生会等で要請を受けると、メンバーの都合がつけば無償でどこへでも駆けつけているそうです。

自分のできるものを何度も練習

代表の岡田弘行さんの話では、黒瀬先生からアイデアをたくさんいただき、その中から自分のできるものを選び、大勢の前で披露できるように何度も練習しているとのことでした。

日本奇術連盟の会員になっている尾辻茂明さんは、現役時代からマジックを始め、30年以上が経過したそうです。当時は200円～300円ほどだったマジックの仕掛け道具が、今では1000円ほどになっているとのことでした。自宅にはたくさんマジック用の仕掛けがあるそうです。

元教員の佐野さんは、学校へ行って、わくわくプラザの子どもたちにマジックを披露しています。子どもたちが、とても不思議そうに目を輝かせているのを見て、いつも元気とパワーをもらっているそうです。それを楽しみに、また新しいマジックに挑戦しています。



■問合せ 岡田弘行 TEL 044-544-3630

すべての人がたのしめる「共遊球技」 ～「竹内啓也さん」の取組～



竹内啓也さんは、神奈川県社会福祉事業団で、地域福祉施設、老人ホームなどの生活指導員として務め、2000年3月に退職しました。その後、「障害がある人もない人も、共に遊べるスポーツの開発と普及」を掲げて「統合スポーツ共遊球技研究所」を設立して現在に至っています。

視覚障害のある高齢者福祉施設に勤めている時に、「目が不自由でも人とふれあいながら楽しめるものがあれば」と試行を重ね、鈴入りのバレーボールを棒で転がしピンを倒す「スティック・ボウリング」を開発したのが「共遊球技」の原点となっています。重度の障害をかかえていても「全ての人ができる楽しめるスポーツ」をめざして、開発に取り組んでいます。

坂の上から球を転がすだけの球技ですが、健常者が常に勝つスポーツではないものを作り上げました。このように竹内さんは、誰でも参加できるボールゲームを研究開発しています。自身のホームページには、各施設・イベントで実際に実践したゲームを30ほど紹介しています。

竹内さんは、「声がかかればどこへでも教えに行きます。プレーしている人の笑顔を見るのが喜びです」という気持ちを持ち続け、笑顔をつくる仕事をしています。

話していても、面白く表情豊かです。どんなことにも積極的に関わっていきこうとする気持ちがあり、中原区民交流センターなかはらっば「がんばる中原人」登録第1号者となっています。

ユーモアのある実況放送でまわりを明るく

竹内さんは、会場では常にユーモアのある実況放送を心がけ、全ての方が今の状況を把握できるように進行しています。話も楽しく、競技者も参観者もいつの間にか、放送にひきこまれてしまいます。一緒になって応援し自然と豊かな表情となり、笑顔の輪が広がっていきます。

ゲーム開発においては、小学生のお孫さん(4年の兄、1年の妹)の協力もあります。右図のように球を重ねて同じ山を3つ作るアイデアや「こうするともっと楽しくなるよ」という要望も参考にしています。

町田市の療育園では、保護者のみなさんが、毎月ボランティアとして来てくれる竹内さんに、広報誌へお礼の記事を書いてくれたり、感謝状にその場にいた20数名の保護者が連名で名前を書いてくれたりした時は、とても嬉しかったそうです。また、去年11月に行われた「なかはら福祉健康まつり」は、あいにくの雨でした。参加した保育園の年長さんが、「雨で外があまりみられなかったけれど、ボウリングが楽しかった」と、竹内さんのコーナーが楽しかったことを、インタビューで答えていました。

今後、ゲームの完成度あげて、今まで開発したゲームを本にまとめて発行し、「共遊球技」の普及に努めたいと抱負を語ってくれました。



■問合せ 竹内啓也 TEL 044-733-0732

かわさきの農業

～次世代へ引き継ぐために～ 「農業は人さまの体を作る大切な仕事」



〈かわさき農産物ブランド品〉 20品目・25種類

種別	品目・商品名	取扱期間
野菜	キャベツ	久末のキャベツ 4～7月、10～2月
	ブロッコリー	久末のブロッコリー 4～6月、10～2月
		宮前のブロッコリー 4～6月、10～2月
	トマト	久末のトマト 10～5月、6～8月
		宮前のトマト 10～5月、6～8月
		岡上のトマト 3～6月
		黒川のトマト 3～6月
	だいこん	宮前のだいこん 10～5月
	カリフラワー	久末のカリフラワー 4～6月、11～1月
	ほうれんそう	全域のほうれんそう 通年
こまつな	全域のこまつな 通年	
たまねぎ	橋の湘南レッド 6月上～7月中	
	菅のらぼう菜 2月下～4月下	
きゅうり	岡上のきゅうり 9～12月	
	黒川のきゅうり 7～12月	
果実	なし	多摩川梨 8～10月
	うめ	生田の梅 5～6月
	メロン	宮前メロン 6月下～7月上
	かき	柿生寺丸柿 11～3月
	パンジー	中原区のパンジー 10～11月
花き	はなもも	馬絹の花桃 1月下～2月下
	こぎく	馬絹の小菊 6～7月、10～11月
	シクラメン	全域のシクラメン 11月中～1月上
	梅干し	生田の梅干 通年
加工品	ワイン	禅寺丸柿ワイン 12月～
	梅干し	生田の梅干 通年

都市農業のますますの振興に向けて

農業は、私たちの体を作る職業として大切な役割を果たしています。今回は、「かわさきの農業」について特集しました。

40年程前、筆者の住んでいた中原区にも水田がたくさんありカエルの鳴き声が夜中まで響いていました。現在は、北部にも住宅が建てられ、農地が年々減少しています。

川崎における農業の様々な課題「営農環境の悪化、相続を契機とした農地の減少、担い手の高齢化等」の多くの課題を踏まえて、市では、農業振興計画策定懇談会で広く意見を聞き、平成28年度からスタート予定の「川崎市農業振興計画」を策定しています。

援農ボランティアの育成、「農」に親しむためのイベント、地産地消（大型農産物直売所）、菜果ちゃん、かわさき農産物ブランド品の選定等の取組を通して、農業の果たしている大切な役割を認識し、都市農業の振興について考えるきっかけになれば幸いです。

「菜果ちゃん」

市内産農産物「かわさきそだち」の販売を促進するために誕生したPRキャラクターが、「菜果(さいか)ちゃん」です。



知ろう! 食べよう!
新鮮・安全・安心な
市内産農産物

「かわさき農産物ブランド品」

かわさき農産物ブランドは、消費者に、高品質で安心・安全に供給できる、かわさき生まれの農産物で、現在、上記の20品目25種類が選定されています。



川崎全域で認定されているシクラメン

【※資料提供 川崎市農業振興センター】

かわさきの味を新鮮なうちに「セレスモス宮前店」10月27日開店

7月12日見学を兼ねて、「セレスモス麻生店」へ行ってきました。去年の6月には(創設の平成20年から6年2ヶ月)、来場者200万人を達成しました。川崎の南部から行くくと車で1時間ほどかかります。

トマト(桃太郎)を購入したら、ラベルに以前筆者がお世話になった方の名前が印字されていました。懐かしくとても嬉しい気分になりました。「ラベル発行機」(生産者が各自値段をつける)には、生産者名・食品の名称・原産地・販売者の値札に、バーコードによる情報管理ができています。セレスモスができたことにより「耕作意欲の向上」「農業収入が増加」という効果が出ています。

「セレスモス麻生店は、川崎市内の最北部なので、市の中心部にも大型農産物直売所がほしい」との声が組合員から寄せられていました。

今月の10月27日(火)、「セレスモス宮前店」として、宮前区宮崎2丁目の東急田園都市線「宮崎台」駅から徒歩15分ほどに開店します。

2階には多目的スペース(料理教室の利用等)の部屋、敷地内には農業資材を販売する店舗も併設する予定です。



セレスモス麻生店

■問合せ JAセレス川崎 経済部販売統括センター Tel 044-877-2220



援農ボランティア「結実農会」の取組

川崎市多摩区にある、農業技術支援センターが神奈川県・セレス川崎農業協同組合・同果樹部・そ菜部の協力を得て実施した「かわさきそだち栽培支援講座」の修了生(果樹部門は「ありのみ会」・野菜部門は「結実農会」が援農グループをつくり、援農活動を行っています。

修了生の会「結実農会」(ゆみのかい)の活動について、前会長の菅野久子さんにお話を伺いました。

「平成22年から援農ボランティアとして、本格的に活動を始め、畑の草取り、苗の定植、収穫、野菜や花の出荷作業、イチジク、ブルーベリーなどの摘み取り、梨の剪定やイチゴやみょうが農家さんのお手伝いをさせていただきました。現在は、岡上直売所で地元の野菜販売のお手伝いをしています。

講座を受講したきっかけは、JAが主催した「じゃがいも学校」の収穫の際に、連作障害を知り、土壌のことを学んでみたいと思ったからです。講座1年目は、川崎市農業技術支援センターで基礎的な講義ときめ細かな実習。2年目は生産者の指導の下、実際に農作業を通して技術を習得しました。21回(2年間)の研修で基本的な野菜の育て方、接ぎ木(つぎき)や挿芽(さしめ)の仕方、肥料、害虫、土作り等、大切な事を学ぶことができました。現在も年1～2回の農業技術支援センターのフォロー研修(技術指導)を受け、知識と技術向上に役立っています。

「農業就労者の多くの方は高齢化や後継ぎ問題をかかえています。この結実農会のことを知って頂き、生産農家さんのお手伝いが少しでも出来れば幸いです」と話されていました。

援農ボランティアとして、農家を支援する大切な仕事をしている方々に感謝します。



のらぼう菜の植え付け

■問合せ 川崎市農業技術支援センター
Tel 044-945-0153

「農」に親しむイベント

地産地消体験バスツアー
開催日 11月17日(火)
会場 麻生区黒川ほか



園芸生産物品評会(※審査) 川崎市園芸展覧会 野菜の即売会
開催日 11月中旬
会場 セレス川崎本店 宮前区宮崎



かわさきそだち料理教室
開催日 11月28日(土)
会場 セレスモス宮前店



かわさき農業フォーラム
開催日 平成28年1月23日(土)
会場 多摩川緑地パーベキュー場 田園都市線 「二子新地駅」から徒歩5分(参加費無料)



■問合せ 川崎市農業振興センター
農業振興課 Tel 044-860-2462

施設めぐり

高津区

大山街道ふるさと館

JR南武線武蔵溝ノ口駅・東急田園都市線溝の口駅下車徒歩7分
東急田園都市線高津駅下車徒歩5分
TEL 044-813-4705

歴史探究講座

武蔵国国府である府中へ通じる道が府中道(鎌倉道)で川崎市域にも通っています。

その他の中世の道を含めて紐解きます。

【第2回歴史探究講座 「中世の川崎市域の道」】

日時 10月17日(土) 午前10時～12時

対象・定員 60名(先着順) 受付中 参加費300円



ガイドブック

「訪ねて楽しい大山街道」

好評発売中 (税込1,028円)

大山街道ふるさと館、

及び、生涯学習プラザで

街道学習講座

大山街道を実際に歩き、沿道の寺社や石造物などを見たり、話を聞いたりして大山街道が果たしてきた歴史・経済・文化的役割を学びます。

【街道学習講座「街道歩き3回シリーズ」】

- ① 10月29日(木) 鶴間～さがみ野(鶴間駅)
- ② 11月12日(木) さがみ野～柏ヶ谷(さがみ野駅)
- ③ 11月26日(木) 柏ヶ谷～海老名(かしわ台駅)

対象・定員 25名(先着順) ※10月1日受付開始 参加費500円

※いずれも

12時50分集合13時出発



鶴間一里塚附近

幸区

川崎市夢見ヶ崎動物公園

JR新川崎駅より徒歩15分、JR鹿島田駅より徒歩20分
川崎駅西口より市バス、臨港バスにて20分 夢見ヶ崎動物公園前
バス停下車徒歩7分
TEL 044-588-4030

今年も可愛い赤ちゃん誕生



出産したレッサーパンダのアン

川崎市幸区にある『加瀬山』と呼ばれる小高い丘にある動物園。園内ではレッサーパンダ、ヤマシマウマ、フンボルトペンギン、アルダブラゾウガメなど60種約400点の動物を飼育展示しています。

動物たちと来園者の距離が近く、間近で動物を観察できます。また園内には自然林が残り、園路や遊歩道を歩きながら四季折々の樹木、草花、野鳥、昆虫などを楽しむこともでき、しかも入園無料です。

春には園内400本の桜が咲きます。特にラマ舎グラウンドの桜は大きく、迫力があります。花が散るとグラウンド一面に桜の花びらの絨毯になります。今年6月16日にレッサーパンダが初の双子を出産しました。(10月12日まで、名前募集中) 毎年の傾向として、5～6月にマーコール、6～8月にホンシュウジカの出産があり、今年も可愛い子どもが生まれています。

他にも、出張授業、職場体験、飼育体験等、教育関連機関と連携して業務を行っています。



■入園無料



入ロロータリートーテンボール

419(飼育の日)調理場の見学

ラマのナン(左)とタイタン(右)

動物園まつりバックヤードツアー

年間イベント

飼育の日イベント(4月19日)

[4月19日に近い土日実施]

- ・秋の動物園まつり(11月中旬)
- ・動物たちへの年賀状コンクール(12月下旬～1月上旬)
- ・春の動物園まつり(3月下旬)

川崎区

若宮八幡宮・金山神社資料室

京浜急行大師線川崎大師崎駅下車、徒歩3分
TEL 044-222-3206

かつて、川崎の大師の海では、海苔を採っていました。若宮郷土資料室には、海苔づくり・乾燥・出荷するまでの工程で使う道具を多数展示しています。漁具や海苔養殖具のほか、昭和時代の農具・家庭用品なども収納展示されています。併設の金山神社資料室には鍛冶屋の神や性に関する民俗習俗の展示があります。金山神社は、もともとは鍛冶屋の神で、社殿内部には鍛冶屋の作業場が再現されており、鍛冶で使う「ふいご」や炉が置かれています。ふいごで火を起こす時の動作が男女の和合に似ていることから、夫婦円満・子孫繁栄・お産や下半身の病にご利益があるといわれています。毎年11月1日に、鍛冶職人や金物を扱う会社・工場などによって神前にて「ふいご祭」の神事が行われています。

金山神社は、若宮八幡宮境内にある神社で、毎年4月の第1日曜日に催される「かなまら祭」は国内外で知られています。



▲若宮八幡宮・郷土資料室



▲金山神社絵馬殿



▲金山神社資料室

■入場無料

年間6回隔月発行
毎号10,000部を市内に配布・配架

Stage Upに**広告**を載せませんか

33mm×90mm内ページで5,000円から

044-733-5811 [かわさきの生涯学習情報](#)

**ご寄附の
お願い**



皆様からいただいた寄附金・寄附品は、生涯学習の促進、子どもたちの体験活動、ロビーコンサートなどに役立っています。申し込み、お問い合わせは 044-733-5560 [かわさきの生涯学習情報](#)

平成27年度 後期 「寺子屋先生」養成講座 受講生募集

あなたの知識や体験を地域の子どもの学習支援に…

平日の放課後、小学生の学習を支援する「寺子屋先生」を養成する講座です。資格は問いません。

【寺子屋事業の内容】

- 学習支援（平日週1回放課後）退職した教員、地域住民、学生等が小学生の学習を支援します。
- 体験学習・世代間交流（土曜日等、月1回）地域、企業、大学等から講師を招き、体験活動や世代間交流のプログラムを実施します。

回	日 程	内 容 (概略)	講 師 (敬称略)
1	12月9日(水)10:00~11:30	寺子屋の概要 最近の学校事情 寺子屋先生体験（具体的な教材をもとに役割演技）	川崎市教育委員会 生涯学習推進課指導主事 長嶺 祐介
2	12月16日(水)10:00~11:30	H27年寺子屋実施校校長講話	寺小屋実施校校長
3	1月13日(水)10:00~11:30	実施寺子屋の報告会	寺子屋実施校の学習支援者による報告
4	1月20日(水)13:00~16:00	寺子屋実施校見学実習 市内3か所の寺子屋を班ごとに見学	寺子屋実施校
5	1月27日(水)10:00~11:30	寺子屋で使用する教科書と教材について 寺子屋先生体験（特殊な場面での対応） 見学・体験学習のグループ討議 今後、寺子屋先生となるまで	川崎市教育委員会 生涯学習推進課指導主事 長嶺 祐介

※予備日 2月10日(水) 10:00~11:30 (場所：生涯学習プラザ)

■会 場 高津市民館会議室 川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2 11階

■定 員 40名 (全回参加できる方) ■受講料 無料

■申込方法 往復はがきでお申込みください。

【必須 記入事項】・「寺子屋先生」養成講座受講申込と必ず記入

・名前 (ふりがな)・年齢・性別・郵便番号・住所・電話番号・FAX番号

■送付先 〒211-0064 川崎市中原区今井南町28-41

(公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室「寺子屋先生」養成講座まで

■申込×切 **11日20日(金) 必着** ※応募人数の多い場合は抽選

■問合せ先 川崎市生涯学習財団 事業推進室 Tel044-733-6626

■主 催 川崎市教育委員会 (公財)川崎市生涯学習財団

〈寺子屋の様子〉



あ と が き

北海道十勝の食料自給率は1100%です。帰省中に86歳になる叔父が、野菜を一日おきに届けてくれました。「昨日、大雨が降ったので、白菜についた泥を落とさなくては」と言って玄関に野菜を置くやいなや、すぐに畑へ戻っていきました。「農」のある風景に心がやすらぎました。NPO沖縄アジアチャイルドサポート代表理事の池間哲郎氏は、アジアの途上国の子どもたちに「あなたの夢はなんですか？」と尋ねると、ある少女は「私の夢は大人になるまで生きることです」、ある男の子は「一度でいいからお腹いっぱい食べてみたい」と答えたそうです。日本を含む2割の先進国が世界の穀物の半分以上消費しているそうです。食べ物がなくても必死に生きているアジアの貧困地域に暮らす子どもたち。人さまの体をつくる大切な仕事、農業と食べ物を大切することをあらためて考えたいです。

贅沢に 進化。

こころからだに、
おいしいものを。
DyDo



Blend is Beautiful.

かわさき市民アカデミーフェスタ' 15

学び方・楽しみ方は無限大

今年も盛りだくさんの内容でみなさんのお越しをお待ちしております！

日 時：2015年11月7日(土) 11時～17時
 : 2015年11月8日(日) 10時～17時
 会 場：川崎市生涯学習プラザ (中原区今井南町 28-41)



内 容：受講生の展示・発表、子ども理科実験教室、中原区文化協会ブース
 セレサ川崎中原支店ご協力の地場野菜即売会、フリーマーケット

11月7日(土) 11時30分～17時00分
 フェスタ De コンサート・朗読会・グループ討論会ほか



11月8日(日) 14時00分～16時30分



基調講演 (2部制) *要事前申込 講師 東京理科大学副学長 向井千秋
 第1部「宇宙と私」
 第2部「If you can dream it, you can do it! 夢に向かってもう一歩」

*詳細なスケジュール等に関しては、ホームページをご覧ください。事務局へお問合せください。

問合せ先：NPO 法人かわさき市民アカデミー事務局 044-733-5590
 ホームページ <http://npoademy.jp/> 「かわさき市民アカデミー」で検索